

『なくしたもの』から『みつけたもの』

河瀬 史奈

いつなのでしょう。

『なぜ?』『どうして?』と、身近な物や出来事に対して、疑問に思ったり、心惹かれたり、心が揺さぶられなくなっていったのは。

どこに行ってしまったのでしょうか。
新たな発見をしたときに、目を輝かせて、誰かに伝えたいというワクワク、ソワソワしたような気持ちは。

小学校1年生の子どもとの何げない会話、

「ねえ、せんせい、しってる?どんぐりって、つちにうめたらおおきなきになるんだって。こんど、どんぐりひろったらつちにうめてみようね、せんせい」

「そうなんだね。おおきなきになったらうれしいね。そしたらまた、どんぐりたくさんおちてくるかもしれないね」

「そうだね。どのくらいどんぐりおちてくるかなあ。たのしみだなあ。」

今は当たり前を理解している知識や常識も、子どもにとっては新しい発見。

大人になって、気にも留めなかったどんぐり。今は、早くどんぐりの実が落ちてこないかなあと、木のそばをワクワクしながら探している自分を見つけました。



第1回企画会議の様子。

大崎町のCM、作っています。
KKBふるさとCM大賞に応募するために、8月から大崎町のCMづくりを行っています。今年で15回目の開催となるふるさとCM大賞。大崎町は第1回から参加し続けています。そんな歴史あるCM作りを今年は私が担当させていただきます。
ただ一人で作っていても仕方がないので、協力者を募ったところ12名近くの人が協力してくれました。これは本当にありがたいことです。何度も企画会議を行い大崎町について話し合い、何を誰に伝えるのか、真剣に考えました。その甲斐もあり、私一人では思いつかない素敵なCMが完成しそうです。このCMは11月にある審査会で審査されその後テレビで放映される予定です。グランプリに選ばれるといいなあ。
山本